

京都芸術劇場ニュースレター



6月12日(金) 16:00、13日(土) 12:00/16:00
14日(日) 12:00

市川猿之助 春秋座歌舞伎舞踊公演

多岐にわたり奮闘中の本劇場芸術監督・市川猿之助が、6月に歌舞伎舞踊の公演を行います。

「市川猿之助 春秋座歌舞伎舞踊公演」と銘打ち、まずは「演目解説」から始まり、次に、お家芸である猿翁十種から「独楽」をご披露します。江戸時代の物売りの風俗を写した舞踊で、独楽売りが由来を語り、独楽を回す振りを踊っているうちに自身が独楽そのものに変身してまいります。軽やかな刀渡りや、百廻りの鮮やかな回転技を見せる猿之助お得意の演目で春秋座初お目見得となります。

続いての「双面水照月」は、歌舞伎狂言「法界坊」で知られる「隅田川すみだがわ統佛とつぶつ」の大切所作事として演じられます。舞台は隅田川。永楽屋の娘・お組は手代の松若に恋をしています。しかし、松若には許婚の野分姫がいました。そこに金と女が大好きな墮落坊主の法界坊がお組に横恋慕したうえ、お組と恋仲である野分姫にも懸想し、意に従わぬ野分姫を手にかけてしまいます。そして、悪行の末、法界坊自身も殺される破目に。これが前段話で、舞踊「双面」はここから始まります。松若とお組が葱売りに身をやつし、隅田川までやってきます。そこへ現れたのは、法界坊の霊と野分姫の霊が合体した、お組にそっくりの怨霊。二人を散々悩ませ、そのうち…。

猿之助は、昨年10月、新橋演舞場で上演した「金幣猿島郡」の大切で、道成寺の世界に「双面」の趣向を取り入れた「双面道成寺」を演じていますが、この度「双面水照月」は初役にて、男と女の踊り分けが見どころの難役に挑みます。共演陣に市川門之助、市川笑也、市川笑三郎ら芸達者な顔ぶれを揃え、二題とも本捲えにて、歌舞伎舞踊の醍醐味を存分に味わっていただけます。

京都芸術劇場プロデューサー 館野 佳嗣

特集

- | | |
|-------------------------|------|
| 市川猿之助 春秋座歌舞伎舞踊公演 | — 1P |
| 笠井勲新作「今晚は荒れ模様」 | — 2P |
| 鼓童ワン・アース・ツアー 2015 ～永遠 | — 3P |
| 綺譚「桜の森の満開の下」／加藤登紀子コンサート | — 4P |
| 桂米團治春秋座特別公演／舞台「アドルフに告ぐ」 | — 5P |

笠井勲新作「今晚は荒れ模様」

4月25日(土) 15:00

●公演情報の詳細は
スケジュール一覧をご覧ください。

土方巽、大野一雄とともに、日本初のオリジナル現代ダンス(舞踏)の草創期を担い、その後、オイリュトミー、現代舞踊と様々なダンスに身をおきながら、現代も疾走を続ける笠井勲。日本を代表する6人の女性ダンサー、(上村なおか、黒田育世、白河直子、寺田みさこ、森下真樹、山田せつ子)と共に、新作「今晚は荒れ模様」を発表します。



撮影:bozzo

笠井 勲 Akira Kasai

昭和18年11月生。三重県出身。

明治学院大学経済学部卒業。ドイツ留学。シュトゥットガルト・オイリュトミウム卒業。モダンダンスを江口隆哉に師事、クラシックバレエを千葉昭則に師事、63年大野一雄に出会い師事。63年土方巽に出会い、「澁澤さんの家の方へ」等の作品の出演。71年、天使館設立。「磔刑聖母」等の初期の作品発表後、79年から十数年間舞台活動中止。90年オイリュトミーシュール天使館設立。93年「鏡の性器を持つ私の女」で舞台活動再開。ベルリン・ローマ・ニューヨーク等で作品制作。春秋座で作品を上演するのは、「花粉革命」(2003年)、「血は特別なジュースだ。」(2011年/KYOTO EXPERIMENT 公式プログラムとして上演)に次ぎ今回が3回目となる。



「血は特別なジュースだ。」



「花粉革命」

撮影(左右):清水俊洋

女性ダンサーとソフィア的な力 ——『今晚は荒れ模様』に寄せて——

笠井勲氏インタビュー

取材・構成/竹田真理(ダンス批評)

——新作では6人の女性ダンサーと共演されますね。

女性の身体のもつカオス性には人類の戦争を乗り越える力があると、私は思っています。今日の戦争は政治の最終形態ではなく、単なる破壊、大義なき暴力と化しています。暴力のエネルギーは身体のカオスであり、ダンスのエネルギーと同根ですが、世界で頻発するテロにせよ未成年者の殺害にせよ、その現れ方は非常に浅薄で短絡的です。ダンスはカオスの中により深く入ってゆき、その本質的な力を別の形で取り出そうとします。ダンカンやヴィーグマンらドイツ表現主義は女性のカオス性のソフィア的な側面、感性的な知の側面を解放するものでした。私が学んだオイリュトミーもこの流れにあります。

今回の6人は、それぞれ個性は違いますが、身体のソフィア的な面を見せてくれる人たちです。上村なおかさんは中性的で、どんな困難にもイヤとダメを言わない受容する力のある人。黒田育世さんはセクシュアリティも含め全てをさらけ出す過激な人。お子さんを産んだ後の母性をテーマにした作品も非常にエロティックなものでした。白河直子さんはH・アール・カオスで人気と実力を誇ったダンサーですが本人はいたって普通の人。これまでの挑発的なフレームを剥ぎ取って違う面を出すつもりです。寺田みさこさんはバレエの前半生と正反対のカオスの表現を持つ人。ブラックホールのように視線を引き込むオーラがある。森下真樹さんは芸域の幅広い人、何でも遊びにしてみよう。青森で地元の消防団に振付けたプロジェクトでも劇場を満員にしたそうです。山田せつ子さんは天使館の出身で、私の渡独前の8年間、稽古に全部出ていました。最初の一年は壁に立ったまま、納得するまで動かなかった。こんな動きがどこから出て来るのだろうというゲリラ的な動きをする人です。

体さえあれば作品になるという意味で、私は(作品主義ではなく)ダンサー主義者です。しかし振付ではその人が一生かかっても出てこない動きを与えることで、それまでになかった面を引き出そうとします。

振付の実際は土方巽から学びました。ダンサーとの振付作業は、そこに至る前の互いの関係を作るところから始まります。出会って誰とでも恋愛するのではないように、誰にでも振付けられるわけではない。ダンサーとはいわば「振付関係」を築き、舞台化を前提としない過程を共有するのです。今回の共演者も多くが振付関係にある人たちです。

——大変興味深いお話です。公演を楽しみにしています。

鼓童ワン・アース・ツアー2015 ～永遠

7月11日(土)17:30
12日(日)13:00

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

2012年より鼓童 芸術監督に就任した坂東玉三郎の演出による「鼓童ワン・アース・ツアー」。一昨年、春秋座にて好評を博した第1作となる『伝説』は、研ぎ澄まされた肉体と、ひたすらに太鼓に挑む姿で魅了し続ける鼓童の心技体の極地ともいべき伝説的演目と坂東玉三郎氏が自ら手掛けた新作とをつないだ作品。続く第2作『神秘』は民俗芸能が持つ神聖さや祈りの中に潜む「神秘」を舞台上に再現。闇と光の交差する幻想的な空間で演劇的要素のある動きにも取り組み、新たな表現を追求した舞台となりました。そして今回、上演する第3作『永遠』は、自然の営みに接していて、ふと垣間みる「永遠」のイメージを表現。さらに進化した魅力の舞台を春秋座にてお届けいたします。

Takashi Okamoto



太鼓芸能集団 鼓童

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。新潟県佐渡島で始動し1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。太鼓芸能を現代的な舞台芸術へと昇華し、日本のみならず世界の芸術・音楽表現に強い影響を与え、異ジャンルの優れたアーティストとの共演や世界の主要な国際芸術祭、映画音楽等に多数参加している。1年の1/3を海外、1/3を国内、1/3を本拠地・佐渡島で過ごし、多様な文化や生き方が響き合う「ワン・アース(一つの地球)」をテーマに、これまでに47ヶ国で5,500回を超える公演を行っている。

新潟県佐渡島を拠点に、国内外を精力的に駆け巡っている太鼓芸能集団「鼓童」。疾走感あふれる演奏が真骨頂だった彼らに変化が現れたのは、2012年に歌舞伎役者で人間国宝の坂東玉三郎が芸術監督に就任してからのことだ。それは、当たり前前にそこにあるはずだった和太鼓について問い直す作業であるかのように。

鼓童の伝説的演目と玉三郎芸術監督が手掛けた新作曲をつないだ『伝説』、闇と光の交差する幻想的な空間で、演劇的な要素、役者としての立ち方を追求した『神秘』に続く、玉三郎芸術監督が演出する第3弾『鼓童ワン・アース・ツアー～永遠』が2014年後半に引き続き、この6月から再びツアーを開始する。『永遠』は、佐渡の豊かな自然と、それを敬

う気持ちにあふれた中に、鼓童の生きる術である和太鼓の響きそのものが春夏秋冬の営みと重なって見えるような作品だ。誰もが楽しみにしている、刹那を感じさせるほどの迫力ある演奏もちろんある。しかしそれを際立たせるがごとくに、繊細で静かな音を響かせたり、素手で格闘したり、大小の和太鼓に囲まれてジャズのフリーセッションを思わせる場面があったり、また初めて挑戦するさまざまな楽器の音色も含めて、和太鼓のさまざまな表情を浮き彫りにする。それはあたかも和太鼓と打ち手との対話から、新たな魅力が引き出されたかのように見えるのだ。そうした作業こそ、実は鼓童にとって「永遠」の繰り返し、つまりは日常の営みであることが伝わってくる。そうし

た表現の広がりを見せた後の怒涛のエンディングは、さらなるカタルシスへと昇華していく。

大きさにいえば、この3年間に行ってきた作業は和太鼓の概念を覆すことだったかもしれない。数ある和太鼓のカンパニーの中でトップランナーとして走り続け、30余年の歴史を誇る鼓童だけにベテラン揃いの印象を抱くかもしれないが、メンバーはフレッシュだ。だから、そうした試行錯誤ができる環境にある。そして、その中心には、船橋裕一郎、草洋介、小見麻梨子、上田恵里花(広報)といった京都造形芸術大学の卒業生たちがいることも付け加えておきたい。これが初めての揃い踏みだ!

今井浩一(フリーエディター)

藤間勘十郎文芸シリーズ其の壱

綺譚「桜の森の満開の下」

5月16日(土) 16:00

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

藤間勘十郎の構成・演出で、日本の文学に古典芸能の要素を取り入れて、エンターテインメントとして立体的に作劇する企画シリーズの第一弾。

坂口安吾の代表的な短編作品「桜の森の満開の下」

——血みどろの世界でありながら、

独特の美学や宗教観があり、不思議な透明感の漂う傑作に挑みます。昨秋、能楽堂で初演し絶賛を浴びた本作が“劇場版”としてバージョンアップ！

さらなるエンターテインメントを目指し新たにお届け致します。

原作：坂口安吾

上演台本：近衛はな

演出・振付・音楽：藤間勘十郎

出演：中川晃教

市川ぼたん

いいむろなおき

花園直道

山本一慶

文芸作品を芝居にするのはとても難しいことです。本は“想像の世界”であり、読み手それぞれにイメージがあります。それを生の役者が演ずることによってイメージを壊してしまうこともありますので、どこか抽象的に、誰が観ても想像できるように余韻を残して作ることが必要になります。

昨秋に能舞台でシンプルに上演を試みた本作ですが、今回は舞踊シーンや、歌なども入れてエンターテインメント色を濃くすると同時に、文学として物語をさらに明確に進行していこうと考えております。『美』を綴る 藤間勘十郎 (初演パンフレットより一部)



中川晃教



いいむろなおき



市川ぼたん



花園直道



山本一慶

50周年記念

加藤登紀子コンサート 終わりになき歌

5月23日(土) 16:30

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

加藤登紀子デビュー 50 周年を記念して、膨大なレパートリーの中から選りすぐりのナンバーを網羅する 1 部と、これまで歌ってきた外国曲の中から、ジャック・ブレル^{*1}のシャンソンと、モダンタンゴのアストール・ピアソラに焦点を合わせたプログラムを全訳詞・加藤登紀子でお送りします。

「50 周年記念」として他都市でも行われるコンサートとは一味違う、加藤登紀子の故郷、京都のみのスペシャルプログラムです。

※1 ジャック・ブレル：1929 年にベルギーで生まれ、フランスで成功したシャンソン歌手、作詞作曲家。

予定曲目

さくらんぼの実る頃	忘却
琵琶湖周航の歌	リベルタンゴ
時代おくれの酒場	愛の讃歌
難破船	百万本のバラ
懐かしき恋人の歌	知床旅情

※曲目は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



加藤登紀子の 50 年、そしてジャック・ブレルとアストール・ピアソラを歌う。

去年は「ピアフの生きた時代を語り歌う」というテーマで、マレーネ・デートリヒとエディット・ピアフの両方を演じ歌いました。

春秋座で作り上げた舞台は、来年、再来年も演じ続けたい加藤登紀子にとっての、初めてのモノオペラになりました。

今年に加藤登紀子の 50 周年にちなみ、60 年代、70 年代、80 年代、90 年代と、大切な歌を網羅する 1 部と、これまで歌ってきた外国曲の中から、最愛のジャック・ブレルのシャンソンと、モダンタンゴのアストール・ピアソラに焦点を合わせたスペシャルプログラム、全訳詞を加藤登紀子でお聞き頂きます。そしてもちろん「愛の讃歌」「百万本のバラ」「知床旅情」など、加藤登紀子の 50 年を支えた歌をたっぷりお楽しみください。なお、このスペシャル・プログラムは「春秋座」だけの限定となります。

加藤登紀子

桂米團治春秋座特別公演

6月6日(土) 14:00

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

昨年、好評を博した若旦那の第二弾！
今年も「ドン・ジョヴァンニ」を上演。
もちろん一部の落語会も魅せます！上方
落語の真髓とオペラと落語の融合をお楽
しみください。



オペらくご 「ドン・ジョヴァンニ」への誘い 桂米團治

解説書なしでオペラを楽しむことがで
きたらなあ…。この想いが私を“オペら
くご”制作へと駆り立てて行きました。

3時間近くかかるオペラを30分で上
演するのですから、どこかを省かなけれ
ばなりません。しかも筋立てはそのまま
に――。

今回はレポレロのアリア「カタログの
歌」や、ツェルリーナのアリア「ぶつて
よ、マゼット」、はたまた彼女とドン・ジ
ョヴァンニとの二重奏「お手をどうぞ」を
割愛。有名な3曲をはずした結果、作
品の骨子が、見えてきました。この噺の
本当の主演は、実はドンナ・アンナとド
ン・オッターヴィオだったのです。

京都のオーケストラや声楽家の方々
ともに、心に残る『ドン・ジョヴァンニ』
をお届け致します。乞う、ご期待！

一部：落語会

桂 紅雀
桂米團治

二部：

オペらくご「ドン・ジョヴァンニ」
桂米團治

演奏：

京都フィルハーモニー室内合奏団

出演：日紫喜恵美(ソプラノ)

伊藤絵美(メゾソプラノ)

清水徹太郎(テナー)



桂 紅雀



日紫喜恵美



伊藤絵美



清水徹太郎

舞台「アドルフに告ぐ」

6月27日(土)14:00、28日(日)13:00

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

これを描いているうちに気がついたんですが、この話は本当は、
恋愛ものじゃないかと思うんです

——— 手塚治虫



成 河

松下洸平



高橋洋

原 作：手塚治虫

演 出：栗山民也

脚 本：木内宏昌

マンガの神様と言われる手塚治虫。彼の
代表作であり、彼の描いた青年マンガ
のなかでもひときわシリアスでハードな
社会派ドラマと言われる長編『アドルフ
に告ぐ』を、日本屈指の演出家・栗山民
也が演出。京都芸術劇場 春秋座で上演
します。

物語は第二次世界大戦前後のドイツに
おけるナチス興亡の時代を背景に、“ア
ドルフ”というファーストネームを持つ
3人の男達—アドルフ・ヒットラー、そ

して二人のアドルフ少年—を軸に進ん
でいきます。「ヒットラーがユダヤ人の
血を引く」という機密文書を巡り、二人
の少年の友情が巨大な歴史の流れに翻弄
されていく様と様々な人物の数奇な人生。
そこに日本人記者の峠草平がストーリー
テラーとして加わり、物語は展開。ベル
リンオリンピックやゾルゲ事件、日本や
ドイツの敗戦、イスラエルの建国など、
登場人物たちは様々な歴史的イベントに
関わる事になるのです。

今、話題のフレッシュな出演者たち

物語の主軸となる2人のアドルフ少
年を演じるのは、近年急速に注目を集め
る俳優、成河と松下洸平。成河はNHK
連続テレビ小説『マッサン』に準レギュ
ラーで出演、主演の舞台作品がいくつ
も控える、今注目の俳優です。松下洸
平もまた、“ペインティング・シンガー
ソングライター”から俳優活動への幅
をひろげ、演劇やミュージカルへの出
演のみならず、連続ドラマや栗山民也
演出『スリルミー』、維新派の松本雄吉
演出『十九歳のジェイコブ』にも出演
しており、いま勢いのある俳優と言っ
て間違いありません。また、物語の語
り部であり重要な役どころである峠草
平を鶴見辰吾が、他にも元宝塚歌劇団
の朝海ひかる、彩吹真央などベテラン
勢が揃います。物語でそれぞれのキャ
ラクターが対立する様とともに、出演
者の競演にもご注目ください。

アドルフたちをめぐる手塚治虫の時代と空間

手塚治虫の長編「アドルフに告ぐ」は、1983年から85年にかけて週刊文春に連載されたおとな向きのマンガである。これが全4巻の単行本として刊行されたとき、私の知人のアニメ作家の中学生になった息子は、すっかり夢中になって五度も繰り返して読んだという。

後に手塚氏が亡くなる前年、私がブロンズ新社という出版社から出る子ども向けの伝説シリーズの一冊として「手塚治虫」の伝説記を書くことになったと話すと、手塚氏は一日さいて私につきあってくれた。ある日曜日の昼、宝塚ホテルのロビーで待ち合わせると、昼食をごちそうになった後、彼が育った家や、そのすぐ近くにあるアドルフのモデルとなったドイツ人一家が住んでいた家などを案内してくださり、彼が通った小学校や中学校などを

訪ねたほか、小学校時代の同級生にも会わせていただいた。

「アドルフに告ぐ」には、手塚治虫が子ども時代をすごした宝塚・神戸・大阪が描かれ、谷崎潤一郎の長編「細雪」に出てくる大洪水の状況も出てくる。しかも、それは日本の軍国主義の時代であった。

「アドルフに告ぐ」全4巻のフランス語版が最初に出たのは1998年から翌年にかけてだが、そのハードカバー特装版が2008年に改めて刊行されたとき、フランスのマンガ評論家と私とが、この長編作品の歴史的背景について、ヨーロッパ側と日本側の視点からそれぞれ解説を書くことになった。

解説は全4巻の各巻につくので、私は手塚治虫の少年時代や、当時の日本の状況について調べ、手塚の他の作品にも触れたその文章は、400字詰め原

稿用紙で総計150枚以上になった。それが仏語訳されて、図版や写真と共に4冊の巻末に、フランス側の文章と共に収録されたのである。そのフランス人には2010年に初めてパリで会い、親しくなった。私の解説文は日本では未発表だが、いつか何らかの形で紹介できればと思っている。

小野耕世

日本マンガ学会会長、映画マンガ評論家

1939年生まれ、ヨーロッパやアメリカのマンガ家やアニメ作家たちとのインタビューを、ここ数年続けてきている。すでに「アジアのマンガ」「アメリカン・コミックス大全」「手塚治虫」などの著書はあるが、「ヨーロッパ・コミックスの冒険」という本を今年中に出したいと思っている。いずれはきちんとした手塚治虫論の本も。

ジョー・ブスケ、尖筆のダンス

2008年に南仏のカルカソンヌを訪れた。かつてこの地に没した詩人、ジョー・ブスケの家を訪ねるためである。若きブスケは志願兵として第一次世界大戦に参加し、1918年に被弾した。21歳のときである。その結果、ブスケは1950年に53歳で亡くなるまで、下半身不随のまま真っ暗な自室のベッドで執筆をしながら生涯を過ごした。

その生涯の中でブスケが書いた詩と小説の全体は、彼が若くして負ったこの「傷」と決定的な仕方では結びついていない。2013年に邦訳された『傷と出来事』（谷口清彦・右崎有希訳）というノートが私たちに伝えるのは、みずからの傷に絶えず立ち戻りながら、その「生」の在処を執拗に問いかけるブスケの驚くべきエクリチュールである。

ある作家の仕事をもっぱらその個人

史のみにもとづいて理解することは、必ずしも正しい態度ではないだろう。だがブスケの場合、彼が若くして背負い込むことになった傷が、あるいはその傷を負った身体が、その特異なエクリチュールを生み出したことは明らかだ。だから、たとえばそれを「尖筆のダンス」と呼んでみることもできるだろう。むろん、それはいわゆる普通の意味での「ダンス」ではない。だが彼の作品が、今それを書いている自己の「意識」から分離不可能な「身体」とのせめぎ合いの中から生まれたことを考えれば、やはりそれは間違いなくひとつの「ダンス」であると言えるのではないだろうか。

その「ダンス」は尖筆を通して他者のもとへと届き、ブスケのもとに多くの友情をもたらした。ブスケの家にはポーランやエルンストをはじめとする

多くの友人が訪れ、それがベッドの上を離れることのできない彼の孤独を癒やしていた。重要なのは、その言葉が彼の特異な身体を経由することで、はじめてかたちを与えられたということである。身体に刻まれた傷を地震計のように他者に伝える、尖筆の上のダンス——ブスケのエクリチュールに触れるとき、そのような言葉がいつも脳裏に去来する。

星野太

美学/表象文化論

1983年生まれ。美学/表象文化論。東京大学大学院総合文化研究科特任助教。著書に『奥村雄樹——ジュン・ヤン』（美学出版、2013年）、共著に『コンテンポラリー・アート・セオリー』（イオスアートブックス、2013年）、『キュレーションの現在』（フィルムアート社、2015年）など。

4 April 2015

□ 演劇/主催公演

25日(土) 15:00
笠井勲新作「今晚は荒れ模様」
 【発売中・全席指定】
 一般 3500円 友の会 3000円 シニア 3200円
 学生&ユース 2000円
 ※4歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。
 ※託児サービスあり(詳しくは劇場HPをご覧ください)。
 T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

27日(土) 14:00、28日(日) 13:00
 ◇春秋座
 ●特集▶P.05
舞台「アドルフに告ぐ」
 【一般4月8日(水)、友の会先行4月7日(火) 発売・全席指定】
 一般 9500円 友の会 8500円 シニア 9000円
 学生&ユース席 4500円(座席範囲指定)
 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

5 May 2015

□ 演劇/主催公演

16日(土) 16:00
 ◇春秋座
 藤間勤十郎文芸シリーズ其の巻
綺譚「桜の森の満開の下」
 【発売中・全席指定】
 一般 6000円 友の会 5000円 シニア 5500円
 学生&ユース席 3000円(座席範囲指定)
 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

7 July 2015

□ 和太鼓/主催公演

11日(土) 17:30、12日(日) 13:00*
 ◇春秋座
 ●特集▶P.03
鼓童ワン・アース・ツアー2015 ～永遠
 【一般4月16日(木)、友の会先行4月14日(火) 発売・全席指定】
 一般 6000円 友の会 5000円 シニア 5500円
 学生&ユース 3000円(200席限定)
 ※3歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。
 ★12日(日)は託児サービスあり(詳しくは劇場HPをご覧ください)。
 T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協 KBS

□ コンサート/主催公演

23日(土) 16:30
 ◇春秋座
 50周年記念
加藤登紀子コンサート 終わりなき歌
 【発売中・全席指定】
 一般 6500円 友の会 5500円 シニア 6000円
 学生&ユース席 3500円(座席範囲指定)
 ※未就学児の膝上入場可。
 T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協 KBS アクティブKEI tel.075-255-6586

6 June 2015

□ 落語/主催公演

6日(土) 14:00
 ◇春秋座
 ●特集▶P.05
桂米團治春秋座特別公演
 【発売中・全席指定】
 一般 4000円 友の会 3000円 シニア 3500円
 学生&ユース席 2000円(座席範囲指定)
 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

□ 演劇/主催公演

12日(金) 16:00、13日(土) 12:00* / 16:00
 14日(日) 12:00
 ◇春秋座
 ●特集▶P.01
 京都芸術劇場春秋座芸術監督プログラム
市川猿之助 春秋座歌舞伎舞踊公演
 【発売中・全席指定】
 一般 8500円 友の会 7500円 シニア 8000円
 学生&ユース席 4500円(座席範囲指定)
 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 ★13日(土)12:00の回は託児サービスあり(詳しくは劇場HPをご覧ください)。
 T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

□ 講演・レクチャー

日本芸能史「生命の更新～芸能・芸道の力」前期

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| ① 4月13日 「総論I」 芸能・芸道 | 講師：諏訪春雄 |
| ② 4月20日 「匠の力—和菓子」 芸道 | 講師：高家昌明
(京菓子司) |
| ③ 4月27日 「能」 芸能 | 講師：天野文雄 |
| ④ 5月11日 「茶道」 芸道 | 講師：筒井紘一 |
| ⑤ 5月18日 「壬生狂言」 芸能 | 講師：
壬生大念仏講 |
| 「神社の生命更新 | |
| ⑥ 5月25日 一式年遷宮と式年造替 | 講師：諏訪春雄
芸道 |
| 「神社の生命更新 | |
| ⑦ 6月1日 「御神楽」 芸能 | 講師：
伏見稻荷大社
解説：木戸敏郎 |
| ⑧ 6月8日 「琵琶」 芸道 | 講師：上原まり
(琵琶演奏家) |
| ⑨ 6月15日 「日本舞踊の大道具」 芸道 | 講師：中田節
(大道具方) |
| ⑩ 6月22日 「絵画の力—おひねり・お札・ぼち袋」 芸道 | 講師：諏訪春雄 |
| ⑪ 6月29日 「上方舞」 芸能 | 講師：山村友五郎
(舞踊家) |
| ⑫ 7月6日 「匠の力—和鏡」 芸道 | 講師：山本晃久
(鏡師) |
| ⑬ 7月13日 「歌舞伎」 芸能 | 講師：田口章子 |
| ⑭ 7月20日 「匠の力—御所人形」 芸道 | 講師：伊東久重
(有職御人形司) |

※受講方法はP.08へ

T-C 京都芸術劇場チケットセンター

e+ イープラス http://eplus.jp

生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド

OTS 劇場オンラインチケットストア

新聞 京都新聞文化センター(京都新聞社1F) — TEL.075-256-0007(10-17時※土・日・祝除く)

KBS KBS京都事業部 — TEL.075-431-8300(10-17時※土・日・祝除く)

ぴあ チケットぴあ — http://t.pia.co.jp/TEL.0570-02-9999

*記載のないものについての開場は開演30分前

*特に標記のない場合、前売と当日は同じ料金 *ユースは25歳以下、シニアは60歳以上対象(一部公演を除く) *学生・ユース・シニアは身分証明書提示

募集中!

【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも早く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はささやかですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

《会員特典》

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)や公演チラシを定期的にお届け!
- ② 京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンラインストア)で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様2~4枚(公演により異なる)まで割引料金にて購入可能!(公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。)
- ③ 当劇場主催公演など、会員限定の先行販売あり!
- ④ 春秋座、studio21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどご案内!
- ⑤ 10年以上ご継続の会員様はプレミアム会員として、さらにお得な特典が受けられます。

《入会方法》 どちらかの方法をお選びください。【年会費 2000 円/有効期限・入会日より1年間】

1. 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み(窓口受付/月~金 10~17時)

2. 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費 2000 円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。(振込み手数料別途 100 円程かかります。)

[口座番号] 00970-7-176517 [加入者名] 京都造形芸術大学 京都芸術劇場

[通信欄] ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ) ③生年月日 ④ FAX(あれば)

[ご依頼人] お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

【オンライン会員】

登録無料! 24 時間ご予約可能! 選べる受取・お支払い方法!
公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストア(右記)へアクセス下さい。

(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

2015 年度公開連続講座「日本芸能史」生命の更新~芸能・芸道の力

学習意欲のある方なら、どなたでも受講いただける人気講座です。

秩序が改まれば生命は更新される。古い秩序を新しい秩序に改め、生命を更新する営みが祭りである。祭りから誕生した日本の芸能や芸道もまた生命更新の方法である。祭りで神を迎える人の行為から芸能は生まれ、芸道は神の降臨する場である二種の依代、自然と人工のうち、人工の依代から誕生した。

海外、ことに西欧では、祭りから誕生した文化であっても、神から離れて人間主体の芸術に変化するのが一般則であるが、頑として芸術になることを拒否し、神と人の交流の段階に止まり続ける文化が、日本の芸能と芸道である。

企画・コーディネーター: 京都造形芸術大学 教授 田口章子

前期(全14回) 2015年4月13日(月) — 7月20日(月)

後期(全14回) 2015年9月28日(月) — 2016年1月18日(月)

毎 回: 月曜日 16:30-17:50 受講料: 各期 13,000円

会場: 京都芸術劇場 春秋座

お問い合わせ・資料請求先: 京都造形芸術大学 京都藝術学舎

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116 (人間館2階)

tel.075-791-9124 FAX.075-791-9021 (平日9-17時 土曜日は16時まで)

カーテンコール

風薫る季節がやってきました。春から初夏にかけては瓜生山の緑が最も美しくなる季節。観劇の後に山道を散策したり、エレベーターや階段で松麟館の屋上へ登り市街を眺めるのはいかがでしょう。ここからの景色は最高。東寺の塔や京都タワー、京都御苑や上賀茂神社までよく見えます。良い舞台と瓜生山の自然を堪能してください。[S]

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel.075-791-8240

営業: 平日 10:00-17:00・公演開催日

京都造形芸術大学
舞台芸術研究センター

京都芸術劇場 春秋座・studio21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

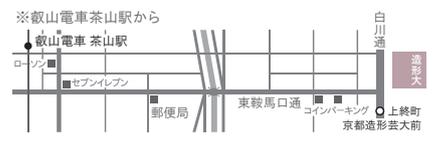
tel.075-791-9207 fax.075-791-9438

URL: <http://www.k-pac.org/>
E-mail: k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp

京都芸術劇場ブログ

<http://www.kyoto-art.ac.jp/blog-theater/>

京都芸術劇場 検索



● JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス 5番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

● 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス 204循環に乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

● 京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はお断りします。

※所要時間はあくまで目安です。交通事情により
大きく変動します。

発行/編集

京都造形芸術大学
舞台芸術研究センター

デザイン 吉羽 一之 (シンプルホープ)

京都芸術劇場ニュースレター
vol.31 発行日—2015年4月1日